

コロナ禍を乗り越えるには

コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究報告から

Zoomウェビナー 報告会



2022 **2.20日**
14:00~15:30 ※13:30から入室できます。

参加費
無料

当日先着
500人

コロナ禍により世界中で人々の暮らしは大きく変わりました。また、人の移動やつながり方に大きな影響を与えました。日本社会には約300万人の外国人が暮らし、ここ豊中にも約6,000人の外国人が暮らしていますが、コロナ禍により、外国人はどういった影響を受けたのか、暮らしはどう変わったのか。どういった受入れ体制や支援が必要だったのか。アンケート調査とインタビュー調査の結果をもとに考えます。



ENOI YUKARI

榎井縁

大阪大学大学院
人間科学研究科附属
未来共創センター
特任教授

登壇者

TAKAYA SACHI

高谷幸

東京大学大学院
人文社会系研究科
准教授



NAGAYOSHI KIKUKO

永吉希久子

東京大学
社会科学研究所
准教授

下記二次元コードより
報告書の閲覧、
ダウンロードが可能です。



参加方法

下記URLまたは二次元コードよりアクセスいただき、IDをご入力ください。事前申し込み、参加者登録は不要です。

<https://zoom.us/j/94899584203>

ID: 94899584203



事前質問

報告書の内容に関する質問は事前にメールで下記豊中市人権政策課（右の二次元コードあるいは下記アドレスメール）までお寄せください。

※ 受付期間：2月13日（日）まで



jkokusai@city.toyonaka.osaka.jp

■主催■ 豊中市・（公財）とよなか国際交流協会

■問い合わせ先■ 豊中市人権政策課

とよなか国際交流センター

TEL：06-6858-2654

TEL：06-6843-4343（※当日のみ）